

【トピックス】 ～「尾原ダムクレスト放流」レポート～ ・尾原ダムにまたアイツが現れた！

尾原ダムが滝に変わる

■3/5(土)、斐伊川上流の尾原ダムにまたアイツが現れるということで、取材に行ってきました。

ダムに到着し、下の広場で放流開始を待ち構えます。たくさんの方で賑わっています。11時になると放流が開始され、ものすごい音と共に勢いよく水が流れ落ちてきました。「アイツ」とは毎年この時期になると尾原ダムに出現する人工の滝(ダムの一番上にあるクレストゲートからの放流)のことなのです。広場周辺には水しぶきが上がり迫力満点、周りのお客さんも、おおーと歓喜し、笑顔で写真を撮影されていました。当日は天気も良く、なんと滝の先には虹が架かり、貴重な体験をすることができました。

五感で感じる尾原ダムの魅力

■放流を見学後、ダムの上に上がろうとすると、ダムの外に設置されている「フーチング階段」を昇るイベントが開催されていました。一般には今回が初開放、登頂すると特典ありとのことで、262段の階段をなんとか登りきり、見事、特典の「登頂認定書」をゲットしました。

また、会場では放流見学を盛り上げようと、ケバブ、ネギ焼き、カニ汁など斐伊川上下流域からたくさんの美味しいものが集まっており、大変賑わっていました。

さらに、クレストゲートの上に位置する展望広場も特別に一般開放されており、放流を真上から間近に眺めることができました。上から眺める放流の景色も格別でした。その横では、尾原ダムでやりたいことを紙に自由に描くワークショップが開かれていました。特に、子ども達はお絵かきに夢中で、ミズベでの妄想を爆発させていました。

このように、会場では様々な催しが行われており、放流を盛り上げる熱い思いを感じました。今後も、地域が盛り上がるイベントとして、この放流見学会がずっと継続されていくと良いですね。来年度以降の放流見学会のさらなる賑わいにも期待です。



ゲートからの放流に大きな歓声



賑わう飲食ブース



クレスト上からも大迫力の景色



滝の先には虹が出現



フーチング階段から
ダム上を目指す



登頂認定書



ワークショップで楽しむ子供達

■ミズベリング縁(えにし)に入って島根の水辺をもっと盛り上げよう。
水辺が好きな人、楽しみたい人、新しいことにチャレンジしたい人などなど、お待ちしております。
活動内容はFacebookで検索！



ミズベリング縁



■お問い合わせは、お気軽に出雲河川事務所計画課(0853-20-1761)まで